

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2024年11月）議事録

日 時：2024年11月29日（金）午後5時00分～7時15分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：永富良一理事長

出席者：永富良一理事長、

内藤久士、小熊祐子各副理事長、

中田由夫常務理事、赤間高雄、井上 茂、

岡浩一郎、甲斐裕子、勝川史憲、後藤勝正、

下光輝一、須永美歌子、竹森 重、田畑 泉、

田村好史、内藤義彦、中里浩一、成田和穂、

檜垣靖樹、前田清司、町田修一、宮下政司、

宮地元彦各理事、石井好二郎監事、

松山郁夫第78回大会長、

山津幸司第78回大会実行委員長、

家光素行第79回大会実行委員長、

津田英一第80回大会長

欠席者：浜岡隆文、宮川俊平各理事、

清田 寛、小林康孝各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. 総務委員会委員の増員について（井上総務委員長）

井上総務委員長より資料に基づき、総務委員会委員を3名増員することが提案され、承認された。

3. シニア会員候補者について（井上総務委員長）

井上総務委員長より資料に基づき、シニア会員の申請資格対象者が報告され、審議の結果、承認された。例年同様、事務局から候補者へシニア会員のご案内を送付する。

4. 名誉会員推薦内規の改定について（井上総務委員長）

井上総務委員長より資料に基づき、現状の名誉会員推薦の運用に合わせる形で名誉会員推薦内規を改定することが提案され、審議の結果、承認された。

5. スポーツ医学研修会について

（中里スポーツ医学研修会委員長）

中里スポーツ医学研修会委員長より資料に基づき、スポーツ医学研修会の開催再開にあたり、オンライン講義とオンライン試験を利用した開催方式の検討を進めることが提案され、審議の結果、承認された。

6. 大会における一般演題応募時の倫理承認の義務化について（成田倫理委員長）

成田倫理委員長より資料に基づき、佐賀大会の一般演題応募者へのアンケートの集計結果を踏まえ、今後の大会における一般演題応募時の倫理承認を義務化すること、倫理承認を得ているかどうかの確認方法については大会長に一任することが提案され、審議の結果、承認された。

7. 学会大会時の本部企画プログラムについて

（町田学術委員長）

町田学術委員長より、学会大会における本部企画プログラムのあり方について理事会内で議論と認識の共有を行うことが提案された。須永プログラム委員長より、本部企画プログラムの立案にあたり、学会として目指すべき目標や使命を共有することが提起された。これを受けて永富理事長より、身体活動・運動と健康に関する豊富な知見、幅広い領域に及ぶ人材が日本体力医学会の特色であり、研究のみならず産学連携による社会実装も重要な課題であることが示された。

大会実行委員会と理事会の間での連携を行う際の体制やスケジュール、本部企画プログラムの件数や割合の目安について、今後の検討事項となった。次回滋賀大会に向けては、プログラム委員会が、学術委員会、渉外委員会、その他の委員会の企画案をとりまとめて大会実行委員会側と調整および連携を進める予定である。

また、宮下渉外委員長より、渉外委員会が行ってきた大会等における国際交流や若手研究者へのサポートの取り組みを、「JPFMS」の国際化や「体力科学」の投稿数増加に活用することについて提起された。後藤編集委員長より、学会大会における本部企画は抄録だけでなく論文としての投稿を促進したいこと、また、特に若手研究者の論文投稿にあたっては周囲の研究者のサポートを期待したい旨が述べられた。

8. その他

1) 大会への協賛団体・企業について

永富理事長より、大会協賛団体・企業への感謝を示す場を設けることについて提案された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会（井上総務委員長）

資料に基づき、各種事業の実施状況が報告された。

1. 規程WG

（1）定款の変更（代議員制度導入の検討）

- ・大会後のアンケート調査で代議員制度の導入について自由記述の意見を収集
- ・何らかの自由記述があったのは55人/424人（約13%）

（2）規程類の公開

- ・理事会確認の後、学会ホームページにおいて公開済み
- ・今後は、規程内容の公開を進める予定
- ・「大塚スポーツ医・科学賞選考規程」について規程の改訂を検討中

2. 部会制・若手の会WG

（1）キックオフミーティング@佐賀大会

（2024年9月2日（月）17:00-18:00）

- ・当日受付をしていないため参加人数は明確ではないが、参加後のアンケートには、若手の会15名、理学療法士部会10名、健康運動指導士部会7名、医師部会6名、アスレティック

トレーナー部会7名から回答をいただいた(事前申し込みは、若手の会30名, 専門部会33名)。

(2) 部会の設立に向けた動き

- ・①若手の会, ②理学療法士部会, ③健康運動指導士部会, ④医師部会, ⑤アスレティックトレーナー部会の5つの部会において, 世話を擁立し申請書を提出することによる部会の立ち上げを検討した。
- ・①～④については, 次回の滋賀大会において集会の開催を希望しているため, 会場の確保を依頼したい。⑤については, 本年度の設立は見送るという連絡をいただいた。

3. 会員情報WG

(1) 大会後アンケート調査の実施

- ・全会員向けに会員サービス検討のためのアンケート調査, 及び非会員の大会参加者向けに第78回日本体力医学会(佐賀大会)についてのアンケート調査を実施した。

2) 編集委員会(後藤編集委員長)

資料に基づき, 「JPFSM」誌, 「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

「JPFSM」誌, 「体力科学」誌の投稿・掲載状況

<投稿状況> (2024年8月1日～2025年10月31日)

「JPFSM」誌: 新規投稿8編(内海外4編)

※前年同期間: 新規投稿14編

10/31現在, 審査中5編

「体力科学」誌: 新規投稿2編

※前年同期間: 新規投稿6編

10/31現在, 審査中4編

<掲載予定>

「JPFSM」誌

○Vol. 13, No. 6 (2024年11月25日発行)

Proceedings 448編(予稿集掲載分598編)

○Vol. 14, No. 1 (2025年1月25日発行)

Regular Article 2編, Short Communication 1編

○Vol. 14, No. 2 (2025年3月25日発行)

Regular Article 3編

○Vol. 14, No. 3 (2025年5月25日発行)

Regular Article 2編, Short Communication 1編

○Vol. 14, No. 4 (2025年7月25日発行)

Regular Article 2編, Short Communication 1編

○Vol. 14, No. 5 (2025年9月25日発行)

Regular Article 2編, Short Communication 2編

○Vol. 15, No. 1 (2026年1月25日発行)

Regular Article 1編

「体力科学」誌

○Vol. 73, No. 6 (2024年12月1日発行)

原著1編, 資料1編

○Vol. 74, No. 1 (2025年2月1日発行)

大会指定演題

◆特集号「体力科学」誌

○第6回特集: 『サルコペニアについて熟考する』

4編掲載予定

◆第78回佐賀大会からの依頼総説および教育講座
総説(体力科学)3編, 教育講座(体力科学)2編,
総説(JPFSM)1編 掲載予定

◆メール配信文について

JPFSMの発行にあわせて掲載論文の情報をメール配信してきたが, 体力科学の掲載論文についてもあわせて配信する。

3) 渉外委員会(宮下渉外委員長)

資料に基づき, 各種事業の実施状況について報告された。

1. European College of Sport Science (ECSS) との交流シンポジウム

- ・ECSS Rimini 2025での公募シンポジウムへの派遣(日本体力医学会会員×2名を上限に)を公募したところ, 応募者がなく, 渉外委員会で検討後, 委員による推薦を経て, 以下1名より応募をいただき, 決定した。

日本体力医学会側: 安藤創一先生(電気通信大学大学院情報理工学系研究科准教授)

テーマ: New perspective of exercise-cognition interaction

ECSS側: Flaminia Ronca (University College London), Benjamin Tari (University of Oxford)

- ・ECSSの事務局より, 第79回日本体力医学会大会(滋賀)への派遣者3名について, 氏名と連絡先について, 連絡があった。

2. 2025 World Congress on Kinesiology and Sport Science への企画書提出

- ・2025年10月25日から27日に韓国の済州島で開催予定の2025 World Congress on Kinesiology and Sport Scienceの大会長より, 企画書提出の依頼があり(日本体力医学会が共催のため), 短期間での演者選出であったため, 理事長に相談後, 委員会で選出し, 理事会への報告との指示があり, 以下のとおり企画書のテーマと演者の選出を行った。

企画テーマ: Evidence identified by health science studies, are they practical in real life? - Responsibilities of health science research

演者: 永富良一先生(東北大学名誉教授), 紙上敬太先生(中京大学教養教育研究院准教授), 城所哲宏先生(日本体育大学体育学部准教授), 山田満月先生(東海学園大学スポーツ健康科学部助手)

4) 広報委員会(田畑広報委員長)

学会ホームページ上で「体力医科学に関する最近のトピック」の記事掲載を開始した。

5) 男女共同参画推進委員会

(甲斐男女共同参画推進委員長)

- ・滋賀大会における男女共同参画推進委員会企画を検討中である。
- ・佐賀大会において, 公募シンポジウムの登壇者の女性比率, 若手比率の向上が見られた。
- ・「体育の科学」誌のDiversity & Inclusion (D&I) 企画への参加について, 学会員の構成に関する情報公開と合わせて, 対応を進める予定である。

6) 学会賞選考委員会(宮地学会賞選考委員長)

ミズノスポーツ振興財団スポーツロジック研究助成への推薦のための選考を行い, 2名の会員を選出した。

7) 財務委員会（中田常務理事）

宮川財務委員長が欠席のため、中田常務理事より、来年度の予算の要望については早期に申し出を頂きたい旨、依頼がなされた。

2. 監事の辞任について（永富理事長）

永富理事長より、家光素行氏の監事辞任の届出を受領したことが報告された。

3. 第78回（佐賀）大会の報告
（山津第78回大会実行委員長）

山津実行委員長より、第78回（佐賀）大会について、総参加者数は1,315名であったこと、収支報告は会計監査終了後の次回理事会で行う予定であることが報告された。

4. 第79回（滋賀）大会の進捗状況
（家光第79回大会実行委員長）

家光実行委員長より、第79回大会の準備状況について報告された。須永プログラム委員長、町田学術委員長、宮下渉外委員長とも連携して、現在プログラムの内容の検討を進めている。

5. 第80回（青森）大会の進捗状況（津田第80回大会長）

津田大会長より資料に基づき、第80回大会の準備状況について報告された。

6. 日本医学会連合第3回社会部会リトリート参加者に

ついて（小熊副理事長）

小熊副理事長より、日本医学会連合第3回社会部会リトリートに日本体力医学会から3名の若手研究者が参加予定であること、企画委員として小熊副理事長と川上諒子氏も参加予定であることが報告された。

7. 日本医学会連合TEAM事業（代表：日本動脈硬化学会）への協力状況について（小熊副理事長）

小熊副理事長より資料に基づき、日本医学会連合TEAM事業（代表：日本動脈硬化学会）の「脳心血管病予防に関するリスク管理チャート」への協力状況について報告された。

8. 学会ホームページについて（永富理事長）

永富理事長より、学会ホームページの利便性の向上について、田畑広報委員長と協力して検討予定であることが報告された。

9. 大塚スポーツ医・科学賞選考規程について
（中田常務理事）

中田常務理事より、規程の改定について大塚製薬株式会社と協議中であることが報告された。

10. 学会担当税理士の変更について（永富理事長）

永富理事長より、日本体力医学会の消費税申告等税務を担当してきた馬目公認会計士が一身上の都合により当該業務を離れることが報告された。

第6回日本体力医学会北九州地方会のご案内

テーマ：運動強度を考える

日時：6月21日(土) 13時00分～16時00分

会場：オンライン開催 (Zoomによるリアルタイム開催・オンデマンドなし)

参加費：無料 会員以外(大学院生・学部生など)も無料で参加可能

会長：川中健太郎(福岡大学スポーツ科学部)

【プログラム】

1. 開会挨拶 (13:00～13:05)
川中健太郎(福岡大学スポーツ科学部)
2. 特別講演 (13:05～13:55)
タバタトレーニングとそれから派生したタバタクロストレーニング
演者：田畑 泉(立命館大学スポーツ科学部)
3. シンポジウム (14:00～15:30)
座長 道下竜馬(福岡大学スポーツ科学部)
支援現場における運動処方と運動強度の現状と課題 (14:00～14:30)
演者：松原建史(健康科学研究所)
運動強度の観点から運動と腎機能の関係を考察する (14:30～15:00)
演者：川上翔太郎(富山県立大学)
運動強度と脳機能：効果と実践のバランスから考える (15:00～15:30)
演者：兵頭和樹(公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所)

4. 総合討論(質疑応答・ディスカッション) (15:30～15:55)

5. 閉会挨拶 (15:55～16:00)

【参加要領】

学術集会にアクセスするURLなどの情報をお送りしますので、事前の参加登録をお願いします。以下のリンクからお申し込みください。

◆参加申し込み:

<https://forms.gle/kXyFGvYrhp7e2wT37>



◆参加登録期限：2025年6月16日(月) 17:00

※登録期限後、事前にアドレスを送付しますので当日の参加登録はできません。

◆お問い合わせ先:

福岡大学スポーツ科学部 富賀裕貴

メールアドレス: tairyokukita6@gmail.com

第94回日本体力医学会中国・四国地方会のご案内

期 日：令和7年6月28日(土)、29日(日)

会場：高知健康科学大学/土佐リハビリテーションカレッジ 講義棟1階 大会議室
(〒781-5103 高知県高知市大津乙2500-2)

プログラム

- 1日目：令和7年6月28日(土)
- | | |
|---------------|--|
| 12時50分～13時30分 | 受付 |
| 13時00分～13時30分 | 幹事会 |
| 13時35分～13時40分 | 挨拶 |
| 13時40分～14時00分 | 奨励賞受賞講演 |
| 14時10分～15時30分 | 研究発表(1) |
| 15時40分～17時00分 | 特別講演
『個体認識・記憶を司る社会脳の研究、そして共同研究者との歩み』
講師：柊 秀人 先生(高知健康科学大学教授、高知大学名誉教授) |
- 17時00分～
高知健康科学大学 新図書館・研究棟のお披露目
- 19時00分～21時00分 情報交流会(会場：未定)
- 2日目：令和7年6月29日(日)
- | | |
|---------------|-------------|
| 8時45分～9時00分 | 受付 |
| 9時00分～12時00分 | 研究発表(2) |
| 12時00分～12時30分 | 総会・若手優秀発表表彰 |

※時間は、演題数により変更になる場合があります。

○学会参加・発表演題申し込み

地方会への参加申し込み・演題申し込みは、6月9日(月)【必着】にて下記の学会申込フォームを利用して参加申し込みを行ってください。Googleフォームでの申し込みが難しい場合は、近藤(kondo@ko-ken-k3.ac.jp)までご連絡ください。

学会申込フォーム (Google フォーム)

<https://forms.gle/Z5LgHbfESCBNTF2j9>

学会参加費:

会 員：1,000円(不課税)

非会員：2,000円(10%消費税込み)

学生、院生：無 料

○予稿集原稿の提出

6月16日(月)【必着】までに、E-mail (WordもしくはPDF添付書類)にてご提出ください。

・原稿はA4用紙2枚に上下左右の余白を2cm取り、タイトルは18ポイント、所属・氏名・本文は12ポイントで作成してください。

・発表者が複数の場合は、演者の前に○印を付けてください。

・添付されたWord書類はこちらで印刷します。こちらで若干の修正を加えさせていただく場合がございます。



ますのでご了承ください。

学会参加, 一般発表, 予稿集原稿の送付先, 問い合わせ等
〒781-5013 高知県高知市大津乙2500-2
高知健康科学大学 健康科学部
リハビリテーション学科 近藤 寛 宛
E-mail: kondo@ko-ken-k3.ac.jp
TEL: 088-866-6119 (内線511)

○一般発表について

- ・発表時間は10分, 質疑応答 4 分の計14分間とします (演題数によって変更有)。
- ・発表は, パソコンの画面映写とします。プロジェクター, HDMI ケーブルは事務局が準備します。
- ・ご自身のパソコンを持ち込まれる場合は, 参加申込時に Google フォームでお知らせください。HDMI ケーブルとご自身のパソコン接続等の作業につきましては発表者ご自身でお願いします。各種変換ケーブルは発表者をご持参ください。また, 発表当日の接続確認と試写を必ずお願いいたします。

○学会会場案内

会場: 高知健康科学大学/土佐リハビリテーションカレッジ
(〒781-5103 高知県高知市大津乙2500-2)
<https://ko-ken-k3.ac.jp/access/>

○お車でのアクセス

校内に駐車場 (無料) がありますので, お車でお越し頂けます。正門入って左にお進みください。

*ナビゲーションシステムでは, 高知健康科学大学もしくは土佐リハビリテーションカレッジを入力していただくと良いかもしれません。

○路面電車でのアクセス (とさでん交通)

JR 高知駅からお越しの場合
「高知駅前」電停で乗車→「はりまや橋」でごめん方面行きに乗り換え→「はりまや橋」電停から「新木 (しんぎ)」電停まで約20分→「新木」電停下車徒歩約3分

○情報交換会

会場: 未定 本学ではなく, 高知市内の「はりまや橋」近辺を予定しています。

*学校近くには宿泊施設がありませんので, 情報交換会の会場は, はりまや橋付近としています。学会会場から少し離れており申し訳ありませんが, 宿泊される場合は, 情報交換会会場近くのホテルにご宿泊ください。

○宿泊施設

学校周辺にホテルはありません。高知駅周辺およびはりまや橋周辺 (学校より車・タクシーで約10分) には宿泊施設が多数ございます。詳しくはインターネット等でお調べいただき各自で手配をお願いします。

なお, 情報交換会会場は, 学校近くではなく, はりまや橋周辺です。情報交換会は, 1日目終了後, ホテルへ移動・チェックインを考慮した時間帯としています。車で来られる先生方は, 学会場へは直接車でお越し頂いた方が便利です。

・おすすめホテル

セブンデイズホテルプラス セブンデイズホテル
リッチモンドホテル高知 西鉄イン高知 はりまや橋
ドーミーイン高知 など

○健康運動指導士及び健康運動実践指導者の方へ

この度は, 健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位としての申請を見送ることとなりました。どうかご了承のほどよろしくお願いいたします。

○学会誌「体力科学」への掲載用原稿

学会誌「体力科学」への掲載用原稿は, 地方会事務局がとりまとめ, 学会誌編集事務局へ送付します。下記の書式に従い E-mail にて 7月11日 (金) 【必着】 までに地方会事務局へお送りください。なお, 筆頭著者が非学会員の場合, 抄録掲載料は1演題あたり3,000円 (10%消費税込) となります。

掲載原稿送付先: jspfsm.chu4@gmail.com

(地方会事務局)

(提出原稿書式)

- 1) 原稿の1枚目から演題名, 発表者名, 所属名, 本文の順にお書きください。
- 2) 900字以内になるよう作成してください (演題名, 発表者名, 所属名, 本文を含む)。
- 3) 図表は認められません。

編 集 後 記

体力科学第74巻3号をお届けします。本号には、原著論文2編、資料1編が掲載されております。加えて、JPFISM, Vol. 14, No. 3にはRegular article 2編とShort Communicationが1編、計3編が掲載されております。いずれも力作で、質の高い論文が掲載されておりますので、会員の皆様方に対して良い情報提供ができていますと確信しております。

さて、御周知のとおり、近年Open access journalが林立し、毎月のように新規JournalからEditor就任以来や投稿依頼が届くという奇妙な事態になっております。これらの中には、非常に科学的評価とIFが高いものから、いわゆるハゲタカJournalという刻印が押されるものまで多岐にわたります。後者には、幾つかのキーワード、データ、そして高い料金を入れると論文が半自動的に作成されるという、全く信じ難い噴飯物の代物まであります。自分たちの研究成果をどこに投稿するかは、もちろん研究者自身に委ねられているわけですが、可能な限りIF等の評価指標が高いJournalに投稿し、掲載受理を勝ち取りたいと思うのは人情でしょう。その心があるからこそ、より一層質の高い研究に向かって持てる力を傾注することができるのだと思います。

さて、私事で恐縮ですが、一昔前中枢性筋疲労に関する電気生理学的実験を博士課程学生と精力的に行い、これまでに先行研究がない新たな実験パラダイムで非常に興味深い良いデータが集まったので、国外のJournalに投稿しました。運良く、我々の投稿論文は掲載受理されました。しかし、驚いたことに、その直後に外国の著名な研究グループによって、ほぼ同じアイデアと実験手法を用いた類似の研究結果が別の国際誌に掲載されました。我々は、この教訓からNoveltyを先取されないように、一連の中枢性筋疲労に関するデータを「体力科学」に投稿し、幸いなことに受理・掲載されました。現在では、これらの論文のFull textやAbstract等はGoogle ScholarやCiNiiで著者名とKey wordsを英語で検索するとヒットしますので、研究成果のPriorityは国内外で確保されていると思っております。今後、会員の皆様方の一層のご努力により、体力科学、JPFISMがPubMedでも検索可能となることを願っております。また、そのためにも建設的で素早い査読を心がけたいと考えております。

小宮山伴与志

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.74, No.3

体 力 科 学 第74巻第3号

令和 7 年 5 月 25 日 印 刷
令和 7 年 6 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

編 集 事 務 局

印 刷 所

後 藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
RENEX Shin-Otsuka 3F 学会支援機構内
TEL : 03-5981-6015 FAX : 03-5981-6012
E-mail : jspfsm@asas-mail.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL : 0235-22-3120 FAX : 0235-22-3120
E-mail : hj-tairyoku@turuin.co.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社
